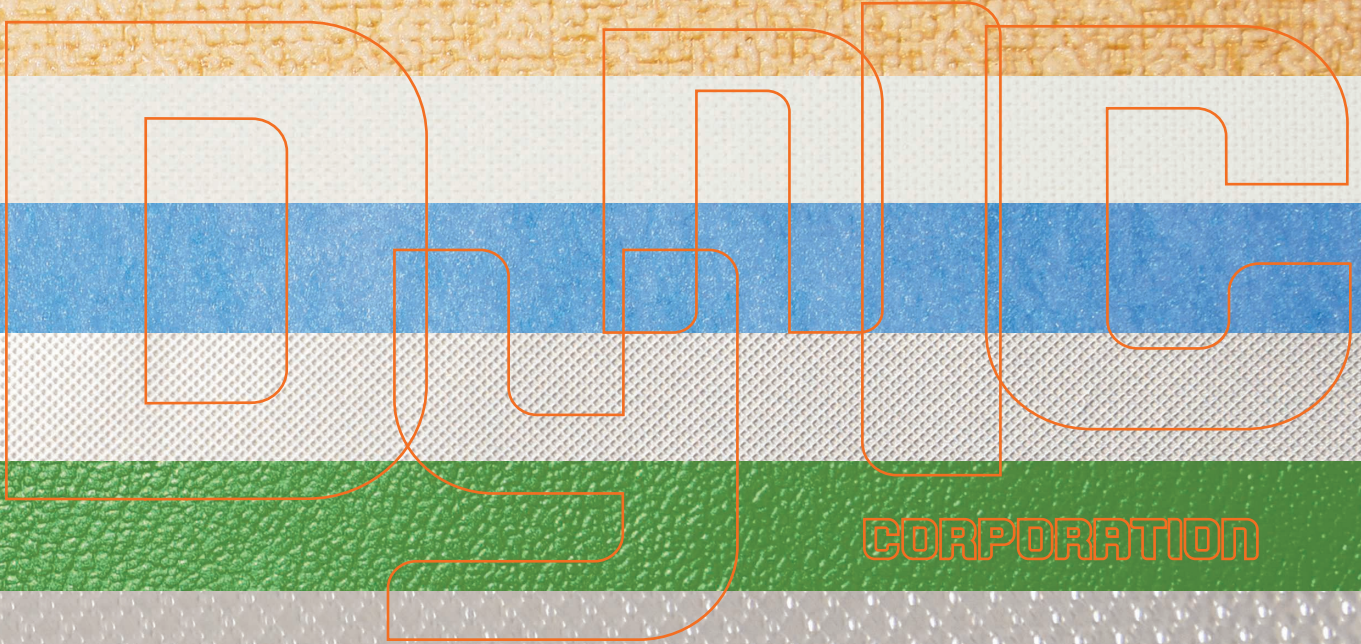


(証券コード 3551)



第 163 期中間報告書

2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日



株式会社
ダイニチ



株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループ第163期中間期(2025年4月1日から2025年9月30日まで)の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

第163期前半期の業績につきましては、前年同期比で増収増益となりました。印刷情報関連事業では、品質表示用ラベルや印字用熱転写リボンが国内、海外向けともに堅調に推移し、包材関連事業の紙器および医療用パップ剤用フィルム加工の販売も安定した増加を維持し、業績に寄与しました。その結果、連結ベースで別記のとおりになりました。

後半期の当社グループを取り巻く事業環境は、先行きの予測が困難な状況が継続すると見込まれますが、好調な海外需要に確実に対応できる体制を整え、低採算分野の見直しによる採算性改善を推進することで、安定した経営基盤の確保に努めてまいります。

今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年12月

代表取締役社長

小田英伸

会社概要 (2025年9月30日現在)

商号 ダイニック株式会社
DYNIC CORPORATION
東京本社 〒105-0004
東京都港区新橋6-17-19(新御成門ビル)
TEL 03-5402-1811 FAX 03-5402-3146
京都本社事務所 〒615-0812
京都市右京区西京極大門町26
創立 1919年8月18日
資本金 57億9,565万円
発行済株式総数 8,504千株
社員数 グループ合計1,088名
営業所/事業所(グループ含む) 札幌、東京、名古屋、京都、大阪、福岡、
香港、シンガポール、米国、
英国、中国、インドネシア、チェコ
工場(グループ含む) 滋賀、静岡、東京、埼玉、栃木、
米国、英国、中国、インドネシア、チェコ
国内7社、海外10社
主要商品 ●文具紙工品用クロス ●壁装材
●出版用クロス ●カーペット
●プリンターリボン ●自動車内装用資材
●銀行通帳用クロス ●各種フィルター
●フィルムコーティング薬 ●不織布
●磁気関連製品 ●産業用ターポリン
●表示ラベル用素材 ●接着芯地
●名刺プリンタ ●各種ファンシー商品
●有孔し尿水分散シート ●食品包装材料
●パップ剤用フィルム加工 ●紙管紙器

役員 (2025年9月30日現在)

代表取締役社長	山田 英伸	田木 隆啓	英範 哲岳	仲明 雄雄
常務取締役	佐々木 高	木里 家本		隆啓 範治
取締役	高中 新	坂本 田	一 明昌	弘 巨子
取締役	新坂 塚	本 田		都 司
取締役	塚 福	田 下		樹 之
取締役	竹 尾	作 藤		充
取締役	伊 下	中 松	祐美 隆直	
取締役	山 重	谷 洋		
常勤監査役	山 渡			
常勤監査役				
監査役				

注 取締役伊藤祐子、下中美都の両氏は社外取締役、また監査役奥谷洋之、渡辺伸充の両氏は社外監査役であります。

経営の実績 当中間連結会計期間の概況

当中間連結会計期間（2025年4月1日から2025年9月30日）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調にあります。一方で、継続的な物価上昇による個人消費の抑制や、米国の関税政策による影響等、先行き不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループでは、「中期経営計画SOLID FOUNDATION2026」最終年度の達成に向けて取り組んでまいりました。前年度に引き続き好調な海外市場や国内のイベント需要も底堅く前年同期比で増収となりました。利益面では、継続的な販売価格転嫁の効果や、採算性改善の取組み等により、前年同期比で増益となりました。

その結果、売上高は22,029百万円（前年同期比1.6%増）となりました。利益面につきましては、営業利益1,067百万円（前年同期比12.3%増）、経常利益1,100百万円（前年同期比5.0%増）、親会社株主に帰属する中間純利益1,123百万円（前年同期比43.0%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高が含まれております。

印刷情報関連事業

印刷被写体においては、布クロスが不採算分野の見直しで規模は縮小しておりますが、利益面では改善効果がありました。ビニールクロスは海外向けの手帳用表紙材の需給調整による受注減少が大きく影響し前年同期比で減収となりました。一方、フィルムコーティング製品は、自動販売機用途が主に環境対応素材等で好調に推移し、前年同期比で増収となりました。また、産業用の品質表示用ラベルは海外向けの受注が好調で、国内市場でもリネンサプライ用途を中心に堅調に推移し、前年同期比で増収となりました。

印字媒体においては、ラベル等の印字用熱転写リボンが、食品包材用途で国内、海外向けともに堅調に推移し、前年同期比で増収となりました。

その他、有機EL用水分除去シートを含む電子特材分野でも、国内外で販売が好調で、前年同期比で増収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は10,919百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は1,087百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

住生活環境関連事業

不織布は、展示会用カーペットや住宅用床吸音材が堅調に推移し、前年同期比で増収となりました。

壁装材は、住宅向けの市況が低調で前年同期比で減収となりました。

産業用ターポリンは、樹脂運搬用フレキシブルコンテナやトンネル工事用の風管の受注が堅調で、販売価格転嫁の効果もあり、前年同期比で増収増益となりました。

その結果、当セグメントの売上高は6,100百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は184百万円（前年同期比95.0%増）となりました。

包材関連事業

食品包材・蓋材は、乳製品や乳酸菌飲料の蓋材は堅調に推移しましたが、前年同期比では若干の減収となりました。一方、紙器の食品容器では、新規顧客の獲得や生産性の改善により前年同期比で増収増益となりました。

医療用パップ剤用フィルム加工は、引き続き海外向けが好調に推移し、前年同期比で増収増益となりました。

その結果、当セグメントの売上高は4,080百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は225百万円（前年同期比14.7%増）となりました。

その他

ファンシー商品は、主要顧客向けのノート・手帳類の在庫抑制が続き、前年同期比で大幅な減収となり、利益面でも厳しい状況となりました。

また、商品等運送・庫内整理は全体的に荷動きが悪く前年同期比で減収となりました。

その結果、売上高は1,476百万円（前年同期比5.8%減）、営業損失は30百万円（前年同期は営業利益20百万円）となりました。

通期の見通し

下半期の当社グループを取り巻く経営環境は、米国の関税政策の影響が徐々に表れ、景気の下振れが懸念される等、不透明な状況が続くことが予想されます。

こうした状況下で、当社グループでは、好調な海外需要に確実に応え、3カ年中期経営計画で取り組んだ不採算分野の見直しによる採算性改善を推し進めて、通期のグループ業績を以下のとおり見込んでおります。

				連 結（対前年比）	
				百万円	%
売	上	高		46,000	（ 4.4）
営	業	利	益	2,300	（ 7.7）
経	常	利	益	2,400	（ 7.1）
親会社株主に帰属する当期純利益				1,600	（ 21.6）

財務諸表の概要（連結）

中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

資産の部

科 目	前 期 2025年3月31日現在	当中間期 2025年9月30日現在
流動資産	27,739	27,254
現金及び預金	4,298	4,536
受取手形、売掛金及び契約資産	8,124	8,053
電子記録債権	5,240	4,975
棚卸資産	9,410	9,101
その他の流動資産	680	601
貸倒引当金	△13	△12
固定資産	33,346	32,887
有形固定資産	19,699	19,535
建物及び構築物	5,113	4,965
機械装置及び運搬具	3,291	3,322
土地	10,389	10,328
その他の有形固定資産	906	920
無形固定資産	71	83
投資その他の資産	13,576	13,269
投資有価証券	6,666	6,813
退職給付に係る資産	3,292	3,303
繰延税金資産	218	210
その他の投資	3,416	2,952
貸倒引当金	△16	△9
資産合計	61,085	60,141

負債の部

科 目	前 期 2025年3月31日現在	当中間期 2025年9月30日現在
流動負債	23,415	21,763
支払手形及び買掛金	7,553	7,390
短期借入金	13,253	12,077
未払法人税等	350	351
事業整理損失引当金	20	21
設備関係支払手形	527	127
その他の流動負債	1,712	1,797
固定負債	11,076	11,425
長期借入金	6,215	6,395
退職給付に係る負債	413	434
再評価に係る繰延税金負債	1,337	1,337
その他の固定負債	3,111	3,259
負債合計	34,491	33,188

純資産の部

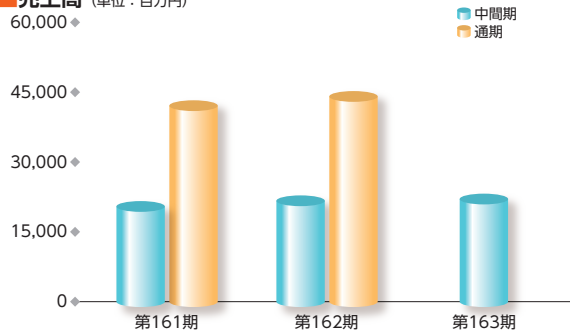
科 目	前 期 2025年3月31日現在	当中間期 2025年9月30日現在
株主資本	18,809	19,531
資本金	5,796	5,796
資本剰余金	987	987
利益剰余金	12,129	13,001
自己株式	△103	△253
その他の包括利益累計額	7,785	7,422
その他有価証券評価差額金	2,315	2,472
土地再評価差額金	2,761	2,761
為替換算調整勘定	1,128	686
退職給付に係る調整累計額	1,581	1,503
純資産合計	26,594	26,953
負債・純資産合計	61,085	60,141

中間連結損益計算書

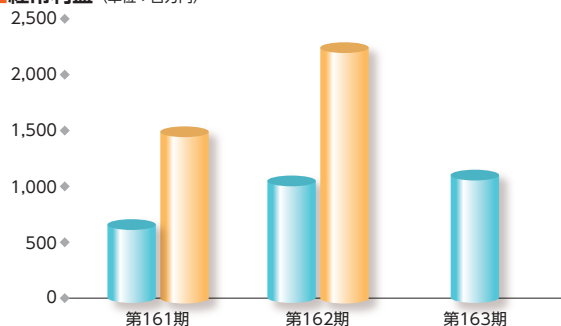
(単位：百万円)

科 目	前中間期 2024年4月1日～ 2024年9月30日	当中間期 2025年4月1日～ 2025年9月30日
売上高	21,672	22,029
売上原価	17,491	17,660
売上総利益	4,181	4,369
販売費及び一般管理費	3,231	3,302
営業利益	950	1,067
営業外収益	359	363
営業外費用	261	330
経常利益	1,048	1,100
特別利益	6	318
特別損失	27	14
税金等調整前中間純利益	1,027	1,404
法人税等	283	281
中間純利益	744	1,123
非支配株主に帰属する中間純損失 (△)	△41	—
親会社株主に帰属する中間純利益	785	1,123

売上高 (単位：百万円)



経常利益 (単位：百万円)

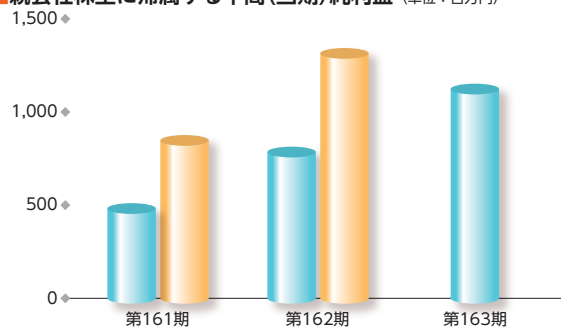


中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前中間期 2024年4月1日～ 2024年9月30日	当中間期 2025年4月1日～ 2025年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,131	2,099
投資活動によるキャッシュ・フロー	△568	△701
財務活動によるキャッシュ・フロー	△594	△1,447
現金及び現金同等物に係る換算差額	126	△111
現金及び現金同等物の増減額	95	△160
現金及び現金同等物の期首残高	4,511	4,209
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,606	4,049

親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 (単位：百万円)



●びわ湖放送にて放送するテレビCMを滋賀工場で撮影

びわ湖放送で毎週月曜日から木曜日の18:00に放送している『知ったかぶりカイツブリにゅーす』にて、番組内マスコットキャラクターの「野洲のおっさん」がゴミ拾いをしながら、びわ湖を1周する企画があります。その企画を応援する協賛企業として、滋賀工場にて撮影したテレビCMが放送されました。



<下記URLでCM動画をご覧になれます>

<https://www.youtube.com/watch?v=A0NAi7SEMOM>



テレビCM撮影風景

●セブン-イレブン限定販売アイスに当社製蓋材採用

2025年8月にセブン-イレブンで限定販売された「不二家レモンスカッシュ シェイク仕立て」に当社製の蓋材が採用されました。同製品は真岡工場製で、環境に配慮した紙製の蓋材となっております。不二家のレモンスカッシュは1975年から販売されているロングセラー商品で、黒地に白の水玉模様は発売当初からのデザインです。



当社製蓋材を採用した「セブン-イレブン限定のアイス」

●LABELEXPO EUROPE 2025 に出展

2025年9月16日（火）から9月19日（金）にスペインのフィラ・バルセロナ・グランビアで開催されたLABELEXPO EUROPE 2025に出展しました。当社ブースはインクリボンと布製印刷素材を展示しました。インクリボンは中国の合併会社であるNixx Synergetic Thermal Prints Limited Company 製品、TTOおよびバイオマスマーク認定商品の環境配慮型リボン「BMC1」、を展示しました。「BMC1」は植物由来原料を使用し、かつCO₂排出量も減少した新モデルで、環境問題に積極的な欧州顧客の関心を集めました。布製印刷素材「CETUS」はユニフォーム管理ラベル用途の「CP2610HMES」を展示しました。



当社ブース


●当社ホームページ「投資家情報」 をリニューアル

2025年4月に当社ホームページの投資家情報をリニューアルしました。グラフ化した業績ハイライト等を新たに追加し、当社のIR情報をより入手しやすくなるように改善しました。



リニューアルされた投資家情報

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
基準日	3月31日	
定時株主総会 剰余金の配当	3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）	
定時株主総会	6月下旬	
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社	
	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合 (特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受 取り方法の変更およびマ イナンバーのお届出など のお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	みずほ信託銀行 証券代行部 
未払配当金、その他当社 株式関係書類について のお問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせ させていただきます。	ホームページ： https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
株主総会資料の電子提供 制度(書面交付請求)につ いてのお問い合わせ	お取引の証券会社または右記みずほ 信託銀行までお問い合わせ願います。	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取・買増 以外の株式売買はできません。 株式の売買にあたっては、証券会社等に口 座を開設し、株式の口座振替手続を行って いただく必要があります。
株式等に関するマイナン バーのお届出のお願い	・株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。 ・お届出が済んでいない株主さまは、上記お問い合わせ先へマイナンバーの お届出をお願いします。	

上場証券取引所	東京
証券コード	3551
公告方法	電子公告 (https://www.dynic.co.jp) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない 場合には、日本経済新聞に掲載して行います。



〒105-0004
東京都港区新橋 6-17-19（新御成門ビル）
TEL 03-5402-1811 FAX 03-5402-3146



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。